

戦線統一の危機を過りてある情勢に於て 国際労働階級

級の統一を力として自国ブルジョアの攻撃に抵抗して、労働者階級の祖国ロシヤを帝國主義の攻撃より守衛し、植民地半植民地の階級的民族運動を支持し、凶暴なる帝國主義對争の危機に反對する。この戦線への労働階級の参加動員が緊急なるものとなつてゐる。

かく吾同盟は過去に於ても、なほ未だ夫が如く国際労働階級戦線統一の見地から、国際労働階級の統一と自己主義を基礎とする者種々の国際的最近の機関、真実の国際戦線統一の破壊機関としての国際労働會議を否認し、その代表を積極的の破壊せざることに努力し、大平洋労働組合會議の支持と代表派遣を次行すると共に、更だ労働階級の労働者階級の統一と、非干渉運動への参加等々、この斗争の遂行と、絶へざる国際戦線統一の必要を宣傳、煽動することによつて、国際労働組合運動の戦線統一の爲めに努力しなげればならぬ。

工場代表労働運動の目的

かの金融恐慌を契機として資本の集中的攻撃に對して激烈化した労働者の自然の政治的闘争と密接に結合し、これを促進激化せしめた五代會議の組織闘争は專制的政治権力の強烈なる圧迫にも関はらず、全口的に發展し、五代の組織闘争への参加は吾同盟所屬團體はもとより組合同盟、統一同盟、独立組合等の大衆とを結合し、本組織労働者大衆によつてなされた。
しかしてこれを全口的に支持し指導した吾同盟の経験と、その後、情勢の變化とは、五代運動に關する門争指導方針を更に具體化し、以て今後の展開を計らねばならぬ。

(一)

(一) 五代會議は正當的には工場従業員會を基礎として資本家的工場経営、権取に對する大衆の自然發生的な最も初歩的の門争組織である。
かゝる性質の故に、組合による大衆的門争の煽動、指導の場合、かゝる煽動、指導は基本的に、最も有利なる大衆を、その方向に向つて戦せしめ、その闘争組織形態となる。
(二) かくの如く五代の性質は、所謂非常時に於ては、その性質、その大衆による門争の實際の行方、大衆の直覺的不平等を追求して、その闘争の組合による公然たる闘争の煽動が行はれ、而して組合がその基礎に立って、忍耐強さ、犠牲性、行動を行ふこととなくしては不可能であることが明白となる。
かくて五代會議は、かゝる門争の過程を通じて、數門的組合の政策をその指導、下に